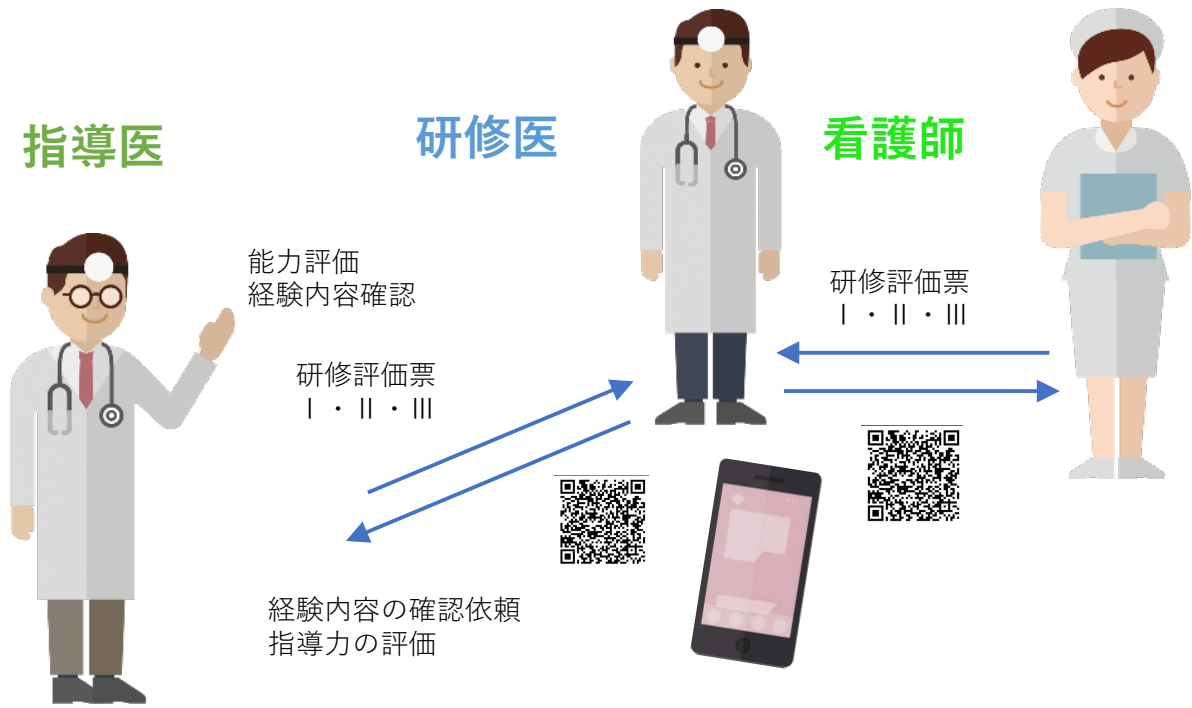
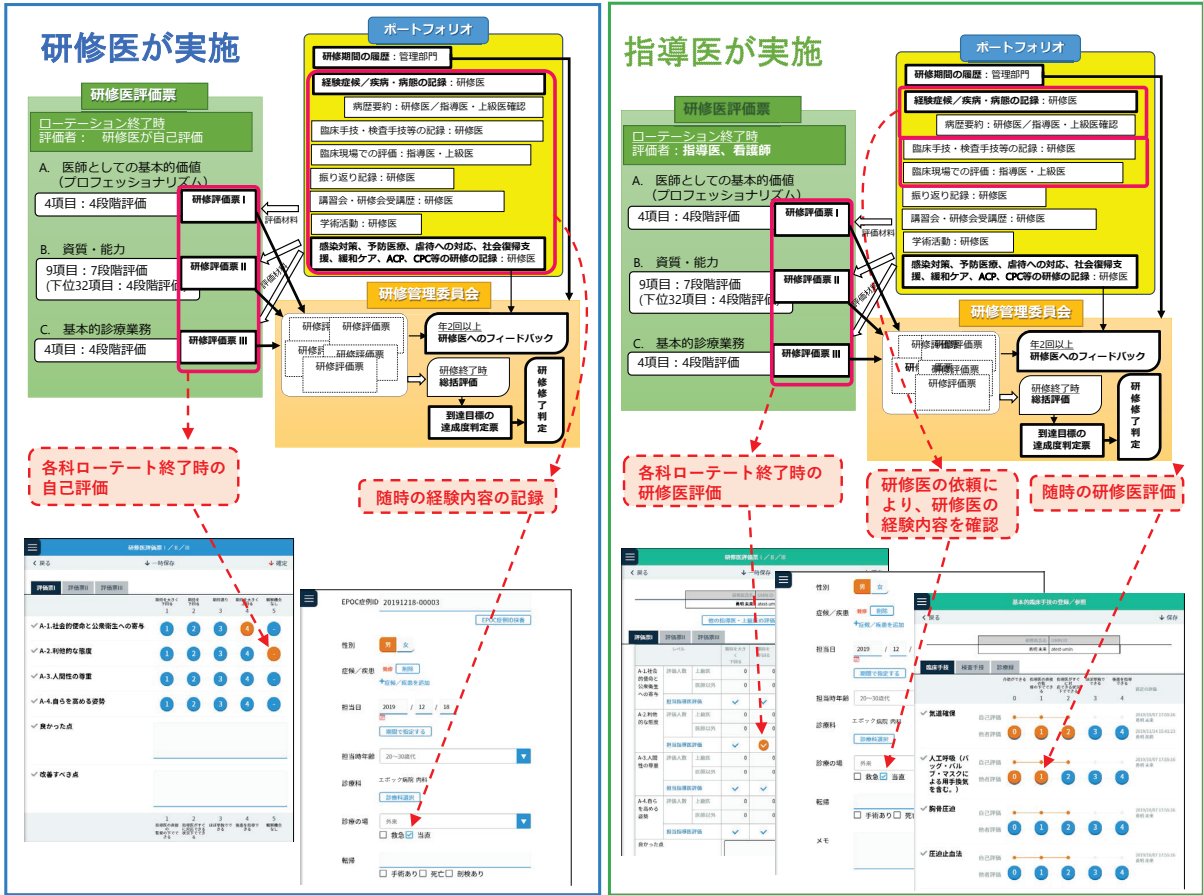


EPOC2による研修評価のイメージ図

研修医は、経験が求められる症候、疾患・病態および基本的診療手技について、経験する度、随時、入力し、QRコードを利用し、指導医に評価・承認を得る。



到達目標およびEPCO2入力について

臨床現場で、研修医は随時入力し、指導医に評価・承認を得る！

経験すべき症候 29	
症候	
1.ショック	
2.体重減少・るい瘦	
3.発疹	
4.黄疸	
5.発熱	
6.もの忘れ	
7.頭痛	
8.めまい	
9.意識障害・失神	
10.けいれん発作	
11.視力障害	
12.胸痛	
13.心停止	
14.呼吸困難	
15.吐血・喀血	
16.下血・血便	
17.嘔気・嘔吐	
18.腹痛	
19.便通異常(下痢便秘)	
20.熱傷・外傷	
21.腰・背部痛	
22.関節痛	
23.運動麻痺・筋力低下	
24.排尿障害(尿失禁排尿困難)	
25.興奮・せん妄	
26.抑うつ	
27.成長・発達の障害	
28.妊娠・出産	
29.終末期の症候	

経験すべき疾患・病態 26	
疾患・病態	
1.脳血管障害	
2.認知症	
3.急性冠症候群	
4.心不全	
5.大動脈瘤	
6.高血圧	
7.肺癌	
8.肺炎	
9.急性上気道炎	
10.気管支喘息	
11.COPD	
12.急性胃腸炎	
13.胃癌	
14.消化性潰瘍	
15.肝炎・肝硬変	
16.胆石症	
17.大腸癌	
18.腎盂腎炎	
19.尿路結石	
20.腎不全	
21.高エネルギー外傷・骨折	
22.糖尿病	
23.脂質異常症	
24.気分障害	
25.統合失調症	
26.依存症	

※ 外科症例1例

基本的診療手技(診察法・検査・手技等)	
●臨床手技	
気道確保	
人工呼吸(バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。)	
胸骨圧迫	
圧迫止血法	
包帯法	
採血法(静脈血、動脈血)	
注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保)	
腰椎穿刺	
穿刺法(胸腔、腹腔)、	
導尿法	
ドレーン・チューブ類の管理	
胃管の挿入と管理	
局所麻酔法	
創部消毒とガーゼ交換	
簡単な切開・排膿	
皮膚縫合	
軽度の外傷・熱傷の処置	
気管挿管	
除細動	
●検査手技	
血液型判定・交差適合試験	
動脈血ガス分析(動脈採血を含む)	
心電図の記録	
超音波検査(心)	
超音波検査(腹部)	
●診療録	
診療録の作成	
各種診断書(死亡診断書を含む)の作成	

その他の研修活動記録(随時入力)

【研修の場:その他】
 ・勉強会(ローテ診療科)
 ・院内講義等(全職員対象)・院外講義等
 ・チーム活動
 ・学会参加・発表
 ・その他
 【名称の項目を適宜入力】
 ・オリエンテーション
 ・CPC
 ・研修医セミナー
 【研修内容】
 以下の“必修項目等”を選択

必修項目
感染対策(必修項目)
予防医療(必修項目)
虐待対応(必修項目)
社会復帰支援(必修項目)
緩和ケア(必修項目)
ACP(必修項目)
CPC(必修項目)
チーム活動
児童精神
薬剤耐性菌
ゲノム医療
感染制御
栄養サポート
社会復帰・退院時支援
認知症ケア
その他

○外来研修20日間
 ○在宅医療

※研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについて:

- ・診療科ローテ終了時、
- ①研修医は自己評価入力。
- ②卒後臨床研修センターから、QRコードを印刷し、指導医・看護師が評価依頼。
- ・研修2年目までに、“期待通り”以上が、研修修了に必要。

★研修医評価票Ⅰ「医師としての基本的価値観」に関する評価
A-1.社会的使命と公衆衛生への寄与
A-2.利他的な態度
A-3.人間性の尊重
A-4.自らを高める姿勢
★研修医評価票Ⅱ「資質・能力」に関する能力
B-1.医学・医療における倫理性
B-2.医学知識と問題対応能力
B-3.診療技能と患者ケア
B-4.コミュニケーション能力
B-5.チーム医療の実践
B-6.医療の質と安全の管理
B-7.社会における医療の実践
B-8.科学的探究
B-9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢
★研修医評価票Ⅲ「基本的診療手技」に関する評価
C-1.一般外来診療 ※
C-2.病棟診療
C-3.初期救急対応
C-4.地域医療